

保護者向け

放課後等デイサービス評価表

(保護者の皆さまへ)

○本評価表は、放課後等デイサービスを利用するお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」「どちらともいえない」「いいえ」「わからない」のいずれかに○を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	3			・部屋は狭めですが、工夫しえ使っていると感じる。 ・もう少し広いといいますが、他の事業所もそんな感じなので仕方ないのかな…
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	22				
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22				・目で見ても、わかりやすい印象だった。 ・掲示物を貼り、児童員の声掛けのみならずそれを見て子ども達がわかるように工夫されていると思います。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	21			1	・面談に伺った際、おもちゃの消毒をされていて清潔に保つよう気をつけていると感じた。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21	1			・子供の事は十分に理解してもらえていると感じているが、一方で専門性のあると情報の共有や目標、支援等にまだ伸びしろがあると思う。 ・個々に合わせた指導、支援をいただいている。 ・今、子どもが何に興味があるのか、又何に不安を感じているのかを汲み取り支援して下さっています。
	6 事業所が公表している支援プログラム(※2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21			1	
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。	22				・丁寧に面談を行っていただき、支援計画を作成されている。 ・面談でしっかり時間をとって細かく見ていただいている。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22				・設定されていると思う。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22				・沿っていると感じる。
	10 事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	1		1	・勉強の時間の内容が定期的に変わっている。 ・長期休み等には、外出イベントがあったりなかなか連れて行けないので助かっています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	5	5	1	11	・他事業所さんとの交流があった。
保護者 への	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22				・細かく必要に応じて紙ベースでも頂いています。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	2	1	8	
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	22				・本日の支援に対してコメントに対する質問があることもあり、その際には連絡帳に書いた方が良いか、とそこについての返事がないこともあるため。 ・HUGでの報告が、とても詳細でありがたい。 ・直接お会いできない時には、お電話を頂いてごまめにやり取りをしています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22				・面談は年に2回ある。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22				・こちらが言ったことが、職員さんの間で共有されていて共感されていると思う。

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	4	8	<ul style="list-style-type: none"> ・年に1度くらい開催はされていても参加には限界があるため、重要な話し合いの内容は後に連絡（HUG等）があってもいいのかな、と思う。 ・まだ、利用はできていないが保護者向けイベントなどもある。 ・きょうだいがいないので分かりませんが、保護者会は行なわれています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	1	1	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22			<ul style="list-style-type: none"> ・HUGがとても便利。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	22			<ul style="list-style-type: none"> ・様々なお知らせを配信して下さっています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	1	2	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22			<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に行っていると思う。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21		1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が迎えに来る日（訓練）を設定していた。 ・地震等、避難訓練を行っているようです。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22			<ul style="list-style-type: none"> ・地震等、避難訓練を行っているようです。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21		1	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ大きな事故、ケガなどはない。 ・事故等を直接見ていなかった職員さんが送ってきてくれた時は状況がわからないこともあったがその後、電話等で説明してもらえた。 ・保護者への連絡はもちろんのこと、緊急性のある際にはどちらの病院に行くか説明を受けています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	21		1	<ul style="list-style-type: none"> ・最近行けてないので…
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	20	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・行く前にたまに泣いてしまうことがあるのでわからないが、行ったら楽しんでいるのではと感じる。 ・とても楽しみにしています。 ・最近行けてないので…
	29	事業所の支援に満足していますか。	22			<ul style="list-style-type: none"> ・とてもありがたく思っている。

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「放課後等デイサービス計画（個別支援計画）」は、放課後等デイサービスを利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。

配布数25枚 回収数22枚 未回収数3枚